

# 広報 ふたば

特別養護老人ホーム 双葉苑

〒803-0273 小倉南区長行東3丁目13番17号 TEL093-451-5865



夏  
ま  
つ  
り



楽しい時間はすぐすぎるもの。  
終了合図に利用者様からは「もうやめるの〜」の音が・・・

今年も待ちに待った「双葉苑夏まつり」の日がやってきました。会場には盆口説きや炭坑節の音楽が流れ、祭りムード満杯！

## ふたばよもやま話 (第八回)

～原爆 小倉から長崎へ～

8月は6日の広島、9日の長崎、そして15日の終戦記念日と昭和20年はまさに激動の月でした。

人類初の核兵器の目標地は、アメリカ軍の上層部でトップシークレットの中で進められました。

6日は第一目標広島、第二が小倉でした。当日、広島上空は晴天だったので計画通り広島へ。第二発目は第一目標小倉、第二が長崎でした。当日原爆搭載機は小倉上空へ三度侵入するものの、前日の八幡市(現北九州市)空襲の黒煙が空を覆い目標を確認できず長崎へ向かったということです。

前日の八幡空襲が無かったら、広島と共に「KOKURA」が被爆地となっていたことは確実で、偶然に救われた小倉と運命のいたずらで被害を受けた長崎の歴史は忘れてはいけません。



投下目標と言われた陸軍造兵廠跡の碑。双葉苑がお世話になっていらっしゃる大手町病院に隣接した公園に碑が残されている

**職員紹介コーナー**  
今回は4月より看護主任という重要ポストに就任した桑田香織さんに登場していただきました。  
桑田さんは現在、看護師さんとして活躍されていますが、もともと介護の仕事をしてきたということですので。その豊富な経験とお人柄は仕事に現れ、本業の看護の仕事はもちろん、利用者様に対するお声がけや接し方は本当に素晴らしく、見習う点が多々あると思います。重責ポストではありますが、安心できる看護体制の確立のため、ご指導よろしくお願ひしたいと思います。



日々の業務をこなし、利用者様にやさしく接する桑田主任

土・日・祝の面接対応は当面の間、ご遠慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。  
また当苑へのお心遣いは一切お断りしております。  
お気持ちだけありがたく頂戴いたしますのでご理解いただけますよう重ねてお願いいたします。

今月の予定 (9月)

石橋医院回診 (毎月曜日)

4日、11日、25日

ますゆき皮膚科回診

7日 (木曜日)

小倉北歯科回診 (毎木曜日)

7日、14日、21日、28日

健康体操 (隔週木曜日)

7日、21日

ビューティヘルパー

13日 (水曜日)

生花

20日 (水曜日)

苑外ハイク

随時

### 【編集雑記】

▼「お客様は神様です」これはだれもが知る国民的歌手で浪曲師の有名な言葉である▼私事で恐縮ではあるが、若いころ、理容師としての修行時代先輩から、店のオーナーからお前たちの給料をもらっているのではない、お客様一人一人から給料をもらっていることを決して忘れるな、ということを出した▼語弊ある表現かもしれないが、利用者様はある意味、我々の生活を支えていただいている「お客様」ではないだろうか。もちろん利用者様をはじめとする高齢者様のお役にしたい、あるいは今まで日本を支えてくださった方々に対する感謝と恩返しで接する方もいることは確かであるものの、人間には生活もあり、お金は必ず必要である▼利用者様をお客さんにならざるを得ない不謹慎だとは思いますが、利用者様の体験談をお聞きでき、また日常生活のお手伝いができるなど、介護施設としては実に素晴らしい社会貢献できる職場であり、職種ということに関係者は自信と誇りをもっていいのではないだろうか▼私自身に長いこと務めさせていただいた関係かもしれないが、高齢者と接することは全く苦にならない、むしろ楽しいとさえ思う。ここで、同僚や先輩方の仕事ぶりを拝見すると、テキパキこなすタイプ、じっくり取り組むタイプなどそれぞれであるが、誠意もって接することが多く見受けられ、実に頼もしい▼よもやま話に書いたように、8月という月は、戦争の記憶を風化させないことが特に大切な時期と思う。今施設で生活されている入所者様ほぼすべては困難な時代をたくましく生きてこられた方たちばかりである。苦勞を決してばやくことなく、今に生きる糧として語ってください入所者様を見ていると勇気をいただいている▼自分の肉親と同様、いつまでも健康をねがってやまない毎日である